

自立した生活支える充実の居宅サービス ほっとカフェなど優しく地域に寄り添う



生活リハにも力を入れる「みどりの苑」



地域に密着した事業「ほっとカフェ」



明るく楽しい職員がそろう「やすらぎ」

社会福祉法人緑陽会(佐藤英美理事長)では高齢者の在宅での自立した暮らしを支援するため、在宅サービス事業に力を注ぐ。その一つが、デイサービス・通所リハビリテーションセンター。家から近い、仲間たちとの交流やリハビリを通じた社会参加を行う。また、「ほっとカフェ」(苫小牧市委託 認知症施策事業)では認知症の方や家族を地域で支える場として機能。地域に寄り添い心の通う福祉活動を推進している。

専門的なりハビリを提供する老人保健施設「みどりの苑」の通所リハビリは、身体機能訓練にとどまらず、手作業や読書、料理、畑作業など日常的な行動を重視した生活リハを取り入れている。さらに作業療法士、理学療法士らリハビリに特化した職員と医師が利用者の自宅に伺い、生活環境を考慮したりリハビリ計画を立てるリハビリマネージメントも実施。ご自宅の生活状況に合わせたリハビリや介護方法の統一化で、より効果的なりハビリが提供できる。その後も効果を確かめる評価を行い、その人らしい自立した、そして笑顔に満ちた暮らしができるよう全力でサポートしている。

デイサービスセンター「やすらぎ」では、来年の施設リニューアル

を目指している。現在は、認知症予防プログラムを盛り込んだゲームや歌などのリハビリと入浴サービスが行われ、ビュッフェ形式の昼食も好評だ。リニューアル後は、リハビリのメニューが一段と充実し、受け入れ規模も拡大する計画で、「生活の中にリハビリを取り入れた付加サービス」と法人関係者は話す。

また、市内の別拠点にある養護老人ホーム「苫小牧静和荘」内のデイサービスセンター「松風」、デイサービスセンター「樽前緑樹園」でも通所サービスが行われている。「通い」を介護予防の第一歩として、個別の状態変化に合わせて各種施設への入所など、法人内の連携を生かして行き届いたサービスを提供できるのも特色だ。

一方、法人が運営するほっとカフェ「なごみ店」は苫小牧静和荘隣の特別養護老人ホーム「花もみじ」内に開設される。毎回、和やかに懇談し、月替わりで専門職員が脳トレや感染症予防、高齢者に適した食事などについて講話。参加者の悩みごとや疑問に答えている。「認知症に限らず、何でも相談してほしい。疑問解決のお手伝いをさせていただければ」と関係者は語る。

社会福祉法人 緑陽会

苫小牧市松風町2番15号 ☎(0144)74-7700
ホームページ <http://www.ryokuyoukai.or.jp>

特別養護老人ホーム 緑陽園
☎0144(67)0166

特別養護老人ホーム 樽前緑樹園
☎0144(67)3620

特別養護老人ホーム 花もみじ
☎0144(74)3388

グループホーム 竹とんぼ
☎0144(61)7788

養護老人ホーム 苫小牧静和荘
☎0144(74)3338

老人保健施設 みどりの苑
☎0144(67)6820

ケアハウス リバーサイド
☎0144(74)5599

デイサービスセンター やすらぎ
☎0144(61)7770



法人本部が置かれる「苫小牧静和荘」